

コロンビア家族計画プロジェクト 実施協議調査団報告書

1986年2月

国際協力事業団
医療協力部

705
98.2
MCS

医 業
J R

86 — 6

コロンビア家族計画プロジェクト 実施協議調査団報告書

JICA LIBRARY



1031871[5]

1986年2月

国際協力事業団
医療協力部

国際協力事業団	
受入 月日 '86. 6. 26	705
登録No. 12827	98.2
	MCS

序 文

国際協力事業団は、コロンビア家族計画プロジェクトについて1983年12月の事前調査団及び1985年1月の協力計画策定専門家チームの調査結果に基づき、1985年11月12日から同年11月22日まで、実施協議調査団を派遣した。

本調査団は、主目的である本件プロジェクト協力に関する討議議事録に関して、コロンビア国厚生省との協議を行いました。プロジェクトのモデル地域の中核をなす母子病院を視察し、意見交換を行った。本報告書は、同調査団の協議内容、調査事項についてとりまとめたものである。

ここに、本調査団の団員ならびに調査団の派遣にご協力いただいた関係各位に対し深甚なる謝意を表すると共に、今後の本件プロジェクトの実施・運営にあたり関係各位の一層のご協力をお願いする次第である。

国際協力事業団
理事 末永昌介



厚生省との協議

左から

尾鷲団員

村松団員

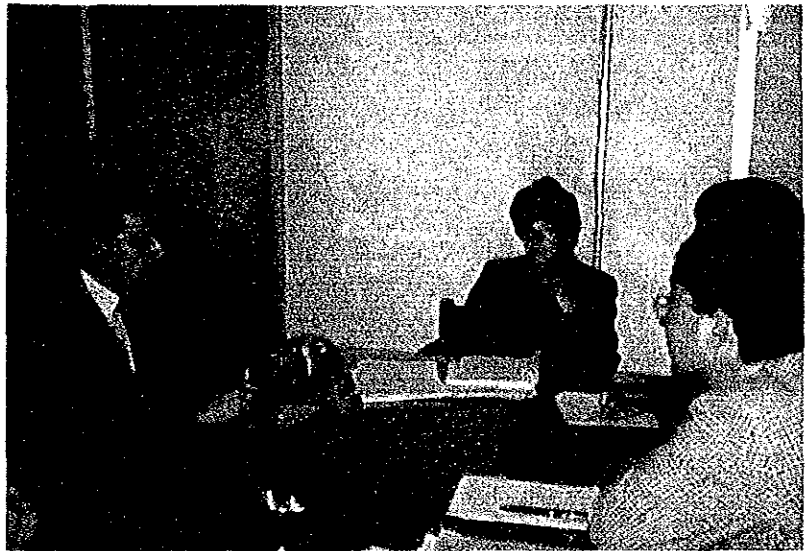
牧野団員

林 団員

厚生省との協議

左 : ウェルタス局長

中央 : デューケ課長



厚生省との協議





企画庁表敬
右：マイテ局長
左手前：JICA 齊藤所長

厚生大臣表敬
中央：スベリア大臣

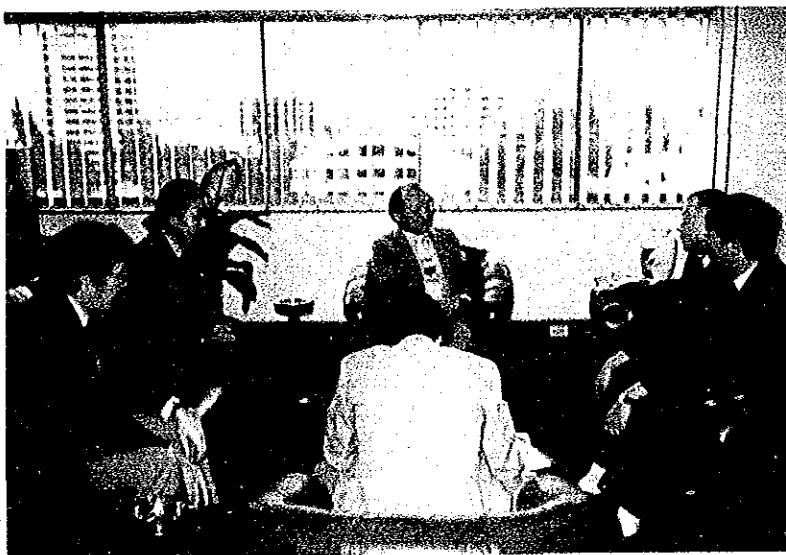


R/D署名



R/D署名

母子病院視察



日本大使館表敬
中央：藤本大使

COLOMBIA



目 次

I. 調査団派遣の経緯と目的	1
II. 調査団の編成	2
III. 調査日程	3
IV. 調査報告	4
1. 総括 (村松 稔)	4
2. 家族計画分野 (林 謙治)	5
V. 添付資料	9
・ R/D 英文	11
・ ミニッツ 英文	22
・ R/D 西文	24
・ ミニッツ 西文	35

1. 調査団派遣の経緯と目的

コロンビア国に於いては、政府が人口家族計画政策についてその必要性を認識し、60年代前期よりその推進に努力してきた。この政策の本旨は、人口増加を抑制する観点のみならず、母子の健康保護・増進、さらには社会的弱者の保護という総合的社会政策の中で位置づけられるものである。

ベタンクール政権も社会政策の充実に力を注いでおり、総合社会政策に基づき、家族計画と母子保健をセットにしたプロジェクト協力を日本政府に要請越した。

これを受けて1983年12月に事前調査団を派遣し、その調査結果に基づき、プロジェクト協力実施の方向で検討していたが、その後、厚生大臣及び実務窓口であった部長が交替したこともあり、その要請内容を再確認する必要が生じ、1985年1月に協力計画策定専門家チームを派遣した。この専門家チームの調査結果に基づきR/D案が作成され、今般、実施協議調査団派遣の運びとなった次第である。

Ⅱ. 調査団の編成

- (1) 団長 村松 稔 (総括)
 国立公衆衛生院衛生人口学部長

- (2) 団員 牧野恒久 (母子保健)
 慶応義塾大学医学部講師

- (3) 団員 林 謙治 (母性小児衛生)
 国立公衆衛生院学校衛生室長

- (4) 団員 尾鷲 彰 (協力計画)
 (財)国際協力サービスセンター嘱託

- (5) 団員 成田明敏 (業務調整)
 国際協力事業団医療協力部医療協力特別業務室

Ⅲ. 調査日程

日 順	月 日	曜 日	調 査 概 要
1	11月12日	火	東京発 JL-006 ニューヨーク着
2	13日	水	ニューヨーク発 EA-009 / EA518 ボゴタ着
3	14日	木	厚生省表敬・打合せ，企画庁表敬，大使館との打合せ
4	15日	金	厚生省との打合せ
5	16日	土	団長及び牧野団員ボゴタ着 調査団内打合せ
6	17日	日	休
7	18日	月	厚生大臣表敬，R/D署名 母子病院・ケネディ病院視察
8	19日	火	厚生省との打合せ，大使表敬
9	20日	水	ボゴタ発 EA-505 ロスアンジェルス着
10	21日	木	ロスアンジェルス発
11	22日	金	JL-061 →東京着

Ⅳ. 調査報告

1. 総括

コロンビアの人口・家族計画・母子衛生に関する本案件は、その最初の交渉は約2年前に始まったのであるが、その後種々の事情によって最終案の詰めに多くの日数がかかった。しかし今回ようやく決着をみてR/Dの署名が出来たことはまことに喜ばしい。本年2月に派遣された mission 今回の調査団の中で先発隊として努力されたメンバーの方々、ならびに現地JICA事務所の担当者の努力がようやく実ったというべきで、本案件の公式発効を心から喜ぶたい。とくに今回の訪問は、火山の噴火という不測の事件によってコロンビア政府厚生省の人々がぎわめて多忙であった中での訪問となり、状況はよくなかったにもかかわらず、コロンビア政府厚生大臣ならびに担当局長の署名を無事に取り得たことは非常に幸いであった。わが国とコロンビア側関係者の努力を多としたい。

本プロジェクトは今後5年間継続されることとなったが、今回の交渉を基にして、2、3の印象、留意すべき点を述べてみる。

1. 今後わが国の人口・家族計画分野における対外技術協力は、従来のアジア主体の形から他の大陸にも及ぶようになることは必然と考えられるが、ラテンアメリカの中でコロンビアが最初のグループに取りあげられるようになったのは幸便とおもわれる。ラテンアメリカの中でコロンビアは家族計画に対する政府の関心が従来より比較的高い国であり、ことに母子衛生、乳児死亡率低下との組み合わせによって家族計画を進めようとする姿勢が強くみられる。したがって、わが国からのこの面における技術協力の受け入れには他の国に比して熱心であると判断される。客観的にみて、これまではコロンビア民間団体が主導的で政府は第二義的な位置にあったとおもえるが、今回のこのプロジェクトによって政府側の事業の発展を期待したい。コロンビア政府の人々もこの点は認識しており、JICAプロジェクトがよい刺激になるものとする。
2. もっとも問題になる可能性のある点は、コロンビア政府職員が頻繁に更送されることである。今回の交渉においても、前回（本年2月）の時点とは異なる職員が要職につき、話し合いの継続性に困難があることが懸念された。また、コロンビアに限ったことではないが、政府要人の変更にもなって相手側からの要求が変化する可能性も考えられる。ただ、今回の訪問の印象として、局長級以上の人々の更送はあっても、課長レベルの担当者にはある程度の継続性が期待できるようであり、事実今回も主として交渉の相手になった女医は前回の交渉以来の担当であり、討議の内容はよく理解していた。
3. これに関連して幸いであるのは、コロンビアにはJICAの事務所が存在するうえに、今回のプロジェクトの現地駐在JICA調整員となるべき人が今回のR/D mission から参加してもらえた点である。この条件はわが国の事業方針に継続性を保証する意味で理想的であり、相手側に今後変動があってもわが国としては当初の方針を維持できるものとする。今回署名されたR/Dならびに Minutes は当然基本条件の記載であり、機材の供与、その他の点では今後細目の討議が必要とな

るであろうが、わが国の担当者が当初から話し合いに参加しているというこの条件はきわめて好都合である。いずれにしても、ボゴタ近郊およびメデジンという2個所を中心としたモデル地域においてわが国から母性衛生、小児衛生、家族計画に関する技術の移転を行うことが根底であり、この条件は変えられない。機材の配分についても細かい点での変更はあり得ようが根本的な枠組は保持すべきである。

4. プロジェクトの前と後でどのように状況が変わったかの評価については、特に本 mission の先発隊が留意した点であり、相手側にもその意向はよく伝わったものと考えられる。専門家の派遣の際この点はさらに具体化されるものとおもいますが、正確で細かい統計指標は無理であるがある程度の評価が可能となる態勢は最初から考えておく必要がある。

以上のほか、機材供与先の地方病院の変更についても相手側の要望があり、ある程度これを受け入れる方向で話し合いをまとめたが、全般としては今回の mission は十分その目的を達したものと判断する。従来接触の機会が多かったアジアとはことなる文化、地理的背景の中でこのプロジェクトは、メキシコのプロジェクトとあいまって、わが国にとっても貴重な経験となるものとおもわれる。

2. 家族計画

今回、コロンビア国を訪問する主たる任務はR/Dの調印ならびに今後プロジェクトを維持するための計画案を作成することにあつた。

11月13日にボゴタ市に到着したが、あいにく到着直後ボゴタ市北方約150kmに位置する Nevodo de Luiz 火山が噴火し、付近のアルメロ市周囲にきわめて莫大な被害があつたことは、すでに日本にも詳細に報道された通りである。

そのため、コロンビア厚生省のカウンターパートとの会議日程の調整に苦慮した次第であります。また本年2月の訪問時に会談した厚生省の行政官に大幅な人事移動があり、また休暇中の方や病氣治療のために一時職務を離れている方もあり、実質的に留任となっている方は人口動態課長である Dra. Duque のみであつた。新任の局長も被災地のマネジメントに奔走している関係上、本プロジェクトの細目については Dra. Duque と主に詰め、彼女を通して大臣、局長と連絡するような手順をとつた。

11月14日、15日の2日間にわたり、Dra. Duque と協議を重ねたが、その主な内容は次の通りである。なお日本側出席者は林、成田、尾鷲団員ならびに JICA 現地所長斉藤氏であつた。

1. コロンビア側はミッション到着前に内部協議した結果、日本側が派遣予定の専門家に関する費用負担問題について省内合意が得られ、R/Dのサインに応ずる用意があること。
2. 日本側の長期専門家滞在については了承し、厚生省内にデスクを提供することとなった。
3. 日本側長期専門家に対する派遣要請書を本年12月までに提出する。また1985年のコロンビア側から日本への研修員派遣についての要請書も上に同様本年12月までに提出する。

4. プロジェクト評価のための日本側の疫学，統計専門家派遣要請を来年1月までに提出する。
5. コロンビア側からの機材を供与する病院に関する一部の変更要請。具体的には前回取り決めたボコタ市スワチャ病院を取り消し，同市内のケネディ病院に変更したい旨，申し出があった。その理由としてスワチャ病院は機材管理上やや難点があることが挙げられた。本件に関しては日本側団員協議した結果，団長到着後の協議事項にしたい旨，返事した。
6. プロジェクト評価の方法に関する大枠の設定について

- (1) コロンビア側から疫学，統計の専門家（少なくとも大学院卒業レベル）をカウンターパートとして人選すること。
- (2) ボコタ市のプロジェクト推進の中心となる母子病院および隣接保健センターが含まれる行政区に関する統計資料を収集する。アパルタード，タルボ地区の衛生行政統計，健康指標に関する資料を収集する。資料の収集はプロジェクト推進以前のものを含め，毎年の資料が必要である。
- (3) 資料の種類
 - (イ) 基礎人口，出生率，乳児死亡率，人口の自然増（減），新生児死亡率，乳幼児疫病構造，家族計画実施率。
 - (ロ) 各種機材の使用状況に関する業務日程，記録等。
 - (ハ) 各病院の母子保健に関する統計。
- (4) 行政業務から収集し得ない資料についての具体的なアプローチ
 - (イ) Health Promotor を活用する
 - (ロ) 各病院を根拠地とする環境保健人員の活用
 - (ハ) セムという組織の活用（セムにおけるスタッフはマラリアとデング熱対策のために活動しているが，全国の各戸訪問をおこなっている。）

以上の3つの方法が提案された。いずれを活用するかは次回ミッションの協議事項にする。

11月14，15日2日間の協議内容は以上の通りであった。

次にR/Dサインについての進行は企画庁に赴き協議した。ところで企画庁の意見としては日本側の他のプロジェクトとの関連で，本プロジェクトについてもサインしないことが述べられた。

本件について団員側にも不明な点が多いので日本大使館担当官の指示を仰ぎ，然るべき事務手続きを踏み，企画庁のサインは不要であるとの回答を得た。

11月18日，午前九時より厚生省に待機し，十時前後厚生大臣と村松団長の間でサインが交わされ，無事調印を終えた。ただし局長のサインは翌19日になされた。

同日，午後ミッション一行は母子病院および Kennedy 病院を視察した。

なおスワチャ病院から Kennedy 病院への振り替えについては団長報告を参照されたい。

以上，今回ミッションの遂行した任務の概容について述べたが，火山爆発による現地の混乱にかかわらず，各団員の努力により所期の目的がほぼ達成された。

今後、本プロジェクトが効率的かつ実効を発揮し、更に豊かな成果が得られることを期待して止まない。

V. 添 付 資 料

RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COLOMBIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT OF FAMILY PLANNING
AND MATERNAL AND CHILD HEALTH

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Minoru Muramatsu, visited the Republic of Colombia from November 13th to 19th, 1985 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Project of Family Planning and Maternal and Child Health (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Colombia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Colombian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both parties, taking account of the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Colombia signed on December 22, 1976, agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

November 18th, 1985 in Bogota

M. Muramatsu

Dr. Minoru Muramatsu
Head of the Japanese Implementation Survey Team
Japan International Cooperation Agency
Japan

Rafael de Zubiría Gómez

Dr. Rafael de Zubiría Gómez
Minister of Health
The Republic of Colombia

Alvaro Huertas Hernández

~~Dr. Alvaro Huertas Hernández~~
Director of Medical Attention
Direction
Ministry of Health
The Republic of Colombia

ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Colombia will cooperate with each other in implementing the Project of Family Planning and Maternal and Child Health for the purpose of promoting family planning and maternal and child health, and thus contributing to the promotion of public health in the Republic of Colombia.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in I. of the Annex.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.
2. The Japanese experts referred to in 1. above and their families will be granted in the Republic of Colombia the privileges, exemptions and benefits in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Colombia signed on December 22, 1976 (hereinafter referred to as "the Agreement").

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipments and materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in III. of the Annex through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.
2. The Equipment will become the property of the Government of Republic of Colombia upon being delivered C.I.F. to the Colombian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in II. of the Annex.

IV. TRAINING OF COLOMBIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Colombian personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.
2. The Governemnt of the Republic of Colombia will take measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Colombian personel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

V. SERVICES OF COLOMBIAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Colombian counterpart and administrative personnel as listed in IV. of the Annex.
2. The Governement of the Republic of Colombia will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Governemnt of Japan as specified in II. of the Annex for the effective and successful transfer of technology under the Project.

VI. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COLOMBIA

1. In accordance with the laws and regulation in force in the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Land, buildings and facilities as listed in V. of the Annex;
 - (2) Supply or replacement of machinery, equipments, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
 - (3) Transportation facilities and travel allowance for the official travel of Japanese experts within the Republic of Colombia including daily transportation between their residence and working site;
 - (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
2. In accordance with the laws and regulation in force in the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Colombia of the articles referred to in III above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) All running expenses necessary for the implementation of the project.
3. Customs duties, internal taxes and any other charges imposed on the Equipment in the Republic of Colombia will be dealt with, in accordance with the provisions of the Agreement.

VII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Minister of Health of the Republic of Colombia will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Director of Medical Attention of the Ministry of Health will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.
3. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Colombian counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.
4. For the effective and successful implementation of the Project, a Coordinating Committee will be established with the function and composition as referred to in VI. of the Annex.

VIII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Colombia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Colombia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts, in accordance with the provisions of the Agreement.

IX. PROVISION OF SPECIAL MEASURES

1. For fostering the smooth promotion of the Project, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to finance a part of the following expenses for the Middle-Level Trainees' Training Program in Colombia.
 - (1) Travel allowance for participations;
 - (2) Expenses for preparing teaching materials;
 - (3) Travel allowance for practical training during the training course;
 - (4) Materials for practical training;
 - (5) Travel allowance for instructor's field tour;
 - (6) Fees for special instructors;
2. The amount of the above mentioned financing through JICA will be reduced step by step in parallel with the self-help efforts on the Colombia side which will continue to increase its budget for this training every year during this cooperation period.

X. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

XI. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years. However, there will be a general review by the Coordinating Committee on the progress of the implementation on the Project during the third year of the cooperation period in order to assess whether the term of cooperation should be modified for the successful implementation of the Project.

ANNEX I

MASTER PLAN

1. Objectives of the Project

The purpose of the Project is to strengthen and expand family planning and maternal and child health activities in the Republic of Colombia with emphasis on the activities in the model areas.

2. Activities under the Project

The Project will consist of the following activities

- (1) Promotion of clinical and other related services
- (2) Development of maternal and child health services
- (3) Training of Colombian counterpart personnel assigned to the Project and medical staff and family planning promoters in the model areas
- (4) Dissemination of relevant information and educational materials on family planning and maternal and child health to target family members
- (5) Other activities necessary for the Project mutually agreed upon as necessary

ANNEX II

JAPANESE EXPERTS

1. Coordinator

2. Experts in the fields of:

- (1) Family planning
- (2) Maternal and child health
- (3) Other related fields mutually agreed upon as necessary

ANNEX III

LIST OF EQUIPMENT

Machinery, equipment and materials for activities in the fields of:

- (1) Family planning
- (2) Maternal and child health
- (3) Other related fields mutually agreed upon as necessary

ANNEX IV

LIST OF COLOMBIAN COUNTERPART
AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Head of the Project
Director of Medical Attention, Ministry of Health
2. Counterpart personnel in the fields of:
 - (1) Family planning
 - (2) Maternal and child health
3. Administrative personnel
4. Other personnel mutually agreed upon as necessary

ANNEX V

LAND, BUILDING AND FACILITIES

The Colombian authorities provide land, buildings and facilities necessary for the Project.

ANNEX VI

COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work;

- (1) To formulate the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of the annual work plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

(1) Colombian side:

- (a) Chairman: Director of Medical Attention, Ministry of Health
- (b) Members : Chief of Maternal and Infantile Division
Chief of Population Dynamics Section
Chief of Infantile Health Section
Chief of Maternal Health Section
Chief of International Technical Division,
National Department of Planning

(2) Japanese side:

- (a) Experts
- (b) Resident Representative of Bogota Office, JICA
- (c) Members of the team to be dispatched by JICA, as necessary

Note: Officials of the Embassy of Japan in the Republic of Colombia may attend the Coordinating Committee as observers.

MINUTES OF THE MEETING ON THE RECORD OF DISCUSSIONS
ON THE PROJECT
FOR FAMILY PLANNING AND MATERNAL AND CHILD HEALTH
IN THE REPUBLIC OF COLOMBIA

The Japanese Implementation Survey Team and the Ministry of Health have signed the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") on the Family Planning and Maternal and Child Health Project in the Republic of Colombia.

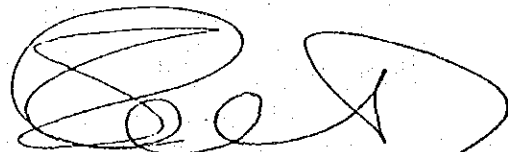
The understanding reached between the both sides are recorded in the following table in order to clarify a certain specific matters concerning the implementation schedule of the Project.

The both sides agreed that the Project activities will be carried out based on the "Tentative Implementation Schedule of the Project" in the following table. This Schedule is formulated tentatively on the assumption that the necessary budget will be secured by the both sides, and is subject to changes within the scope of R/D, if necessity arises during the course of the implementation of the Project.

November 18th, 1985 in Bogota

M. Muramatsu

Dr. Minoru Muramatsu
Head of the Japanese Im-
plementation Survey Team
Japan International Co-
operation Agency
Japan



Dr. Rafael de Zubiría Gómez
Minister of Health
The Republic of Colombia

Alvaro Huertas Hernandez

Dr. Alvaro Huertas Hernandez
Director of Medical Attention
Direction
Ministry of Health
The Republic of Colombia

TENTATIVE IMPLEMENTATION SCHEDULE OF THE PROJECT

	1985/1986	1986/1987	1987/1988	1988/1989	1989/1990	1990/1991
1. Dispatch of Japanese Experts	3 Experts	3 Experts	3 Experts	3 Experts	3 Experts	3 Experts
2. Acceptance of Colombian Personnel in Japan	1 person	2 persons	2 persons	2 persons	2 persons	2 persons
3. Equipment	a) Family Planning Set 200 sets b) VTR Set-25 sets c) Slide Projector 150 units d) Slide Film Dupli- cator 1 unit e) Slide Mounter 1 set f) VTR Tape Dupli- cator 1 set g) Binocular Micros- cope 17 units h) Ultrasonography 2 units i) Fetal Monitoring System 2 units j) Spectrophotometer 1 unit k) Incubator 12 units l) Infusion Pump 7 units m) Vehicle 2 units	a) Family Planning Set 200 sets b) VTR Set-25 sets c) Copying Machine 3 units d) Ultrasonography 4 units e) Pediatric Equip- ment	a) Family Planning Set 200 sets b) VTR Set-25 sets c) Laparoscope 8 sets d) Fetal Monito- ring System 6 units e) Pediatric Equip- ment	a) Family Planning Set 200 sets b) VTR Set-25 sets c) Pediatric Equip- ment	a) Family Planning Set 200 sets b) Pediatric Equip- ment	

RECORD DE DISCUSION
ENTRE EL EQUIPO JAPONES PARA EL ESTUDIO
DE LA IMPLEMENTACION Y LAS AUTORIDADES INTERESADAS
DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE COLOMBIA
SOBRE LA COOPERACION TECNICA JAPONESA
PARA
EL PROYECTO DE PLANIFICACION FAMILIAR
Y SALUD MATERNO INFANTIL

El Equipo Japonés para el Estudio de la Implementación (que en adelante se denominará "El Equipo") organizado por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (que en adelante se denominará "JICA") y encabezado por el Dr. Minoru Muramatsu visitó la República de Colombia del 13 al 19 de Noviembre de 1985, con el propósito de trabajar en los detalles del programa de cooperación técnica concernientes al Proyecto de Planificación Familiar y Salud Materno Infantil (que en adelante se denominará "El Proyecto").

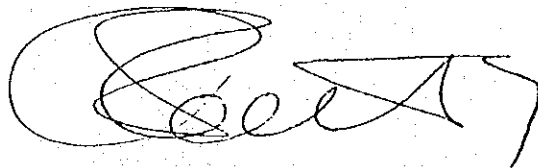
Durante su estadía en la República de Colombia, el Equipo intercambió puntos de vista y tuvo una serie de discusiones con las autoridades colombianas interesadas, respecto a las medidas que sería deseable que fueran tomadas por ambos Gobiernos para la exitosa implementación del Proyecto.

Como resultado de las discusiones, ambas partes, teniendo en cuenta las disposiciones estipuladas en el Acuerdo de Cooperación Técnica firmado entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República de Colombia, el 22 de Diciembre de 1976, acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos los asuntos a que se refiere el documento adjunto.

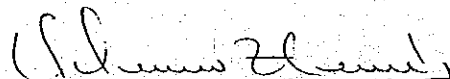
Bogotá, Noviembre 18 de 1985

M. Muramatsu

Dr. Minoru Muramatsu
Jefe del Equipo Japonés
para el Estudio de la
Implementación
Agencia de Cooperación
Internacional del Japón
Japón



Dr. Rafael de Zubiría Gómez
Ministro de Salud
La República de Colombia



Dr. Alvaro Huertas Hernandez
Director de la Dirección de
Atención Médica
Ministerio de Salud
La República de Colombia

DOCUMENTO ANEXO

I. COOPERACION ENTRE AMBOS GOBIERNOS

1. El Gobierno del Japón y el Gobierno de la República de Colombia cooperarán entre sí para la Implementación del Proyecto de Planificación Familiar y Salud Materno Infantil, con el propósito de promover la planificación familiar y la salud materno - infantil contribuyendo así a la promoción de la salud pública en la República de Colombia.
2. El Proyecto será implementado de acuerdo con el Plan Maestro que se da en el número I, del anexo.

II. DESPACHO DE EXPERTO JAPONESES

1. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en el Japón, el Gobierno del Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para suministrar servicios de Expertos Japoneses, por su propia cuenta, como se relaciona en el Anexo II, por medio de los procedimientos normales bajo el Programa de Cooperación Técnica del Gobierno del Japón.
2. A los Expertos Japoneses a que se refiere el punto 1. anterior, y a sus familias, se les concederá en la República de Colombia los privilegios, exenciones y beneficios previstos en el Acuerdo de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República de Colombia, firmado el 22 de diciembre de 1976 (que en adelante se denominará "El Acuerdo").

III. SUMINISTRO DE MAQUINARIA Y EQUIPO

1. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en el Japón, el Gobierno del Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para suministrar, por su propia cuenta, la maquinaria, equipos y materiales (que en adelante se denominarán "el Equipo") necesarios para la implementación del Proyecto, como se relaciona en el Anexo III, por medio de los procedimientos normales bajo el Programa de Cooperación Técnica del Gobierno del Japón.
2. El Equipo se convertirá en propiedad del Gobierno de la República de Colombia al ser entregado C.I.F., a las autoridades colombianas concernientes, en los puertos y/o aeropuertos de desembarque y será utilizado exclusivamente para la implementación del Proyecto, en consulta con los Expertos Japoneses mencionados en el número II del Anexo.

IV. ENTRENAMIENTO DE PERSONAL COLOMBIANO EN EL JAPON

1. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en el Japon, el Gobierno del Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para recibir por su propia cuenta al personal colombiano vinculado con el Proyecto, para recibir entrenamiento técnico en el Japón por medio de los procedimientos normales bajo el Programa de Cooperación Técnica del Gobierno del Japón.
2. El Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para tener la seguridad de que el conocimiento y la experiencia adquiridos por el personal colombiano mediante el entrenamiento técnico en el Japón serán utilizados efectivamente para la implementación del Proyecto.

V. SERVICIOS DE CONTRAPARTES COLOMBIANOS Y DE PERSONAL ADMINISTRATIVO

1. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en la República de Colombia, El Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para asegurar, por su propia cuenta, los servicios necesarios de contrapartes colombianos y de personal administrativo, según se relaciona en el punto IV del Anexo.
2. El Gobierno de la República de Colombia asignará o nombrará el número necesario de personal calificado y adecuado para cada experto Japonés que sea despachado por el Gobierno del Japón, según se especifica en el punto II del Anexo, para la efectiva y exitosa transferencia de tecnología, bajo el Proyecto.

VI. MEDIDAS QUE DEBEN SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE COLOMBIA

1. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en la República de Colombia, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para suministrar, por su propia cuenta:
 - (1) Terrenos, edificios e instalaciones, según se relaciona en el Anexo V;
 - (2) Suministro o reposición de maquinaria, equipos, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y cualesquiera otros materiales necesarios para la implementación del Proyecto, diferentes de los que se hayan suministrado a través de JICA, de conformidad con el punto III anterior;
 - (3) Facilidades de transporte y viáticos para los viajes oficiales de los expertos Japoneses dentro de la República de Colombia, incluyendo transporte diario entre su residencia y el lugar de trabajo;
 - (4) Alojamiento amoblado apropiado para los expertos Japoneses y sus familias.

2. De acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en la República de Colombia, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para pagar:
 - (1) Los gastos necesarios para el transporte dentro de la República de Colombia de los artículos mencionados en el punto III anterior, así como para la instalación, operación y mantenimiento de los mismos.
 - (2) Todos los gastos corrientes necesarios para la implementación del Proyecto.

3. Los derechos de aduana, impuestos internos y cualesquiera otros gravámenes impuestos sobre el Equipo en la República de Colombia, se tratarán de conformidad con las estipulaciones del Acuerdo.

VII. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

1. El Ministro de Salud de la República de Colombia tendrá la total responsabilidad de la implementación del Proyecto.

2. El Director de Atención Médica del Ministerio de Salud será responsable de los aspectos administrativos y de manejo del Proyecto.

3. Los expertos Japoneses darán al personal de contrapartes colombianos la orientación técnica y el asesoramiento necesarios sobre los asuntos propios de la implementación del Proyecto.

4. Para la efectiva y exitosa implementación del Proyecto, se establecerá un Comité Coordinador con las funciones y composición a que se refiere el Anexo VI.

VIII. DEMANDAS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

El Gobierno de la República de Colombia se hará cargo de las demandas, si se presenta alguna, contra los expertos Japoneses comprometidos en el Proyecto, que surjan de, que ocurran en el curso de, o que de cualquier manera estén relacionadas con el desempeño de sus funciones oficiales en la República de Colombia, excepto aquéllas que provengan de mala conducta voluntaria o de negligencia crasa de los expertos Japoneses, de conformidad con las estipulaciones del Acuerdo.

IX. PROVISION DE MEDIDAS ESPECIALES

1. Para promover el cabal y fácil cumplimiento del Proyecto, de acuerdo con las leyes y reglamentos vigentes en el Japón, el Gobierno del Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para financiar una parte de los siguientes gastos para el Programa de Entrenamiento de Personal a Nivel Medio en Colombia.

- (1) Gastos de viaje para la participación;
- (2) Gastos para la preparación de material para la enseñanza;
- (3) Gastos de viaje para entrenamiento práctico durante el curso de entrenamiento;
- (4) Materiales para el entrenamiento práctico;
- (5) Gastos de viaje para las giras de campo de los instructores;
- (6) Honorarios para los instructores especiales.

2. El monto de la financiación a través de JICA, arriba mencionada, será reducido poco a poco, paralelamente con los propios esfuerzos que la parte de Colombia continuará realizando cada año para incrementar su presupuesto para este entrenamiento, durante este periodo de cooperación.

X. CONSULTA MUTUA

Habrá consulta mutua entre los dos gobiernos sobre cualesquier puntos importantes en disputa que surjan de, o que estén relacionados con este Documento Anexo.

XI. TERMINO DE LA COOPERACION

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto conforme a este Documento Anexo será de cinco (5) años. Sin embargo, habrá una revisión general por parte del Comité de Coordinación sobre el progreso de la implementación del Proyecto durante el tercer año del periodo de la cooperación, con el fin de evaluar si la duración de la cooperación debe ser modificada para la exitosa implementación del Proyecto.

ANEXO I

PLAN MAESTRO

1. Objetivos del Proyecto

El propósito del Proyecto es fortalecer y aumentar las actividades de planificación familiar y salud materno infantil de la República de Colombia, con énfasis en las actividades en las áreas modelo.

2. Actividades bajo el Proyecto

El Proyecto se compondrá de las siguientes actividades:

- (1) Promoción de servicios clínicos y ótros relacionados
- (2) Desarrollo de servicios de salud materno infantil
- (3) Entrenamiento de personal de contrapartes colombianos asignados al Proyecto y del personal médico y de promotores de planificación familiar, en las áreas modelos.
- (4) Difusión de la información pertinente y de los materiales educativos sobre planificación familiar y salud materno infantil, para que lleguen hasta los miembros de las familias.
- (5) Otras actividades necesarias para el Proyecto, y que mutuamente se acuerden como necesarias.

ANEXO II

LISTA DE EXPERTOS JAPONESES

1. Coordinador
2. Expertos en los campos de:
 - (1) Planificación familiar
 - (2) Salud materno infantil
 - (3) Otros campos relacionados, mutuamente acordados como necesarios.

ANEXO III

LISTA DE EQUIPO

Maquinaria, equipo y materiales para actividades en los campos de:

- (1) Planificación familiar
- (2) Salud materno infantil
- (3) Otros campos relacionados, mutuamente acordados como necesarios.

ANEXO IV

LISTA DE PERSONAL DE CONTRAPARTES
COLOMBIANOS Y ADMINISTRATIVO

1. Jefe del Proyecto
Director de Atención Médica, Ministerio de Salud.
2. Personal de contraparte en los campos de:
 - (1) Planificación familiar
 - (2) Salud materno infantil
3. Personal administrativo
4. Otro personal, mutuamente acordado como necesario.

ANEXO V

TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

Las autoridades colombianas suministrarán terrenos, edificios e instalaciones necesarias para el Proyecto.

COMITE COORDINADOR

1. Funciones

El Comité Coordinador se reunirá por lo menos una vez al año y siempre que surja la necesidad, y trabajará para:

- (1) Formular el Plan anual de trabajo del Proyecto y de conformidad con la Programación Tentativa de Implementación formulada según el marco de este Record de Discusión;
- (2) Revisar el progreso global del programa de cooperación técnica, así como las realizaciones del plan anual de trabajo;
- (3) Revisar e intercambiar puntos de vista sobre los aspectos importantes que surjan de, o que estén relacionados con el programa de cooperación técnica;

2. Composición

(1) Parte colombiana:

- (a) Presidente: Director de Atención Médica, Ministerio de Salud
- (b) Miembros : Jefe de la División Materno Infantil
Jefe de la Sección de Dinámica de Población
Jefe de la Sección de Atención Infantil
Jefe de la Sección de Atención Materna
Jefe de la División de Cooperación Técnica Internacional,
Departamento Nacional de Planeación

(2) Parte Japonesa

- (a) Expertos
- (b) Representante Residente de la Oficina de JICA en Bogotá
- (c) Miembros del equipo que envíe JICA, según sea necesario.

Nota: Funcionarios de la Embajada del Japón en la República de Colombia podrán asistir a las reuniones del Comité Coordinador como observadores.

MINUTAS DE LA REUNION SOBRE EL RECORD DE
DISCUSION DEL PROYECTO DE PLANIFICACION
FAMILIAR Y SALUD MATERNO INFANTIL EN
LA REPUBLICA DE COLOMBIA

El Equipo Japonés para el Estudio de la Implementación y el Ministerio de Salud han firmado el Record de Discusión (que en adelante se denominará "R/D") sobre el Proyecto de Planificación Familiar y Salud Materno Infantil en la República de Colombia.

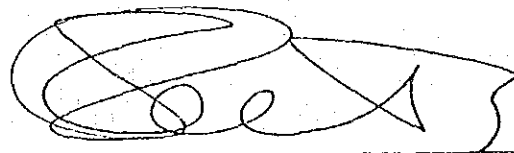
Los acuerdos alcanzados entre ambas partes, se registran en el documento anexo, para poner en claro cuestiones específicas relacionadas con el calendario de ejecución del Proyecto.

Ambas partes estuvieron de acuerdo en que las actividades del Proyecto serán iniciadas con base en el "Calendario Tentativo para la Ejecución del Proyecto" que se describe en los cuadros adjuntos. Este calendario está formulado tentativamente bajo la premisa de que el presupuesto necesario será obtenido por ambas partes, y está sujeto a cambios dentro del alcance del R/D si surgiera la necesidad durante la ejecución del Proyecto.

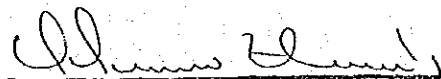
Bogotá, Noviembre 18 de 1985



Dr. Minoru Muramatsu
Jefe del Equipo Japonés
para el Estudio de la
Implementación
Agencia de Cooperación
Internacional del Japón
Japón



Dr. Rafael de Zubiría Gómez
Ministro de Salud
La República de Colombia



~~Dr. Alvaro Huertas Hernandez~~
Director de la Dirección de
Atención Médica
Ministerio de Salud
La República de Colombia

CALENDARIO TENTATIVO PARA LA EJECUCION DEL PROYECTO

	1985/1986	1986/1987	1987/1988	1988/1989	1989/1990	1990/1991
1. Despacho de Expertos Japoneses	3 Expertos	3 Expertos	3 Expertos	3 Expertos	3 Expertos	3 Expertos
2. Aceptación de Personal Colombiano en el Japón	1 persona	2 personas	2 personas	2 personas	2 personas	2 personas
3. Equipo	<p>a) Juego de Planificación Familiar-200 juegos</p> <p>b) Juego VTR - 25 juegos</p> <p>c) Proyector de Diapositivas 150 unidades</p> <p>d) Duplicador de Diapositivas 1 unidad</p> <p>e) Montaje de Diapositivas 1 juego</p> <p>f) Duplicador de Cintas para VTR 1 juego</p> <p>g) Microscopio Binocular 17 unidades</p> <p>h) Ultrasonografía 2 unidades</p> <p>i) Sistema de Control Fetal 2 unidades</p> <p>j) Espectrofotómetro 1 unidad</p> <p>k) Incubadora 12 unidades</p> <p>l) Bomba de Infusión-7 unidades</p> <p>m) Vehículo 2 unidades</p>	<p>a) Juego de Planificación Familiar-200 juegos</p> <p>b) Juego VTR - 25 juegos</p> <p>c) Máquina Copiadora 3 unidades</p> <p>d) Ultrasonografía 4 unidades</p> <p>e) Equipo Pediátrico</p>	<p>a) Juego de Planificación Familiar-200 juegos</p> <p>b) Juego VTR - 25 juegos</p> <p>c) Laparoscopio 8 juegos</p> <p>d) Sistema Control Fetal 6 unidades</p> <p>e) Equipo Pediátrico</p>	<p>a) Juego de Planificación Familiar-200 juegos</p> <p>b) Juego VTR - 25 juegos</p> <p>c) Equipo Pediátrico</p>	<p>a) Juego de Planificación Familiar-200 juegos</p> <p>b) Equipo Pediátrico</p>	

JICA